

産業建設常任委員会記録

令和8年2月27日

【開催日】 令和8年2月27日（金）

【開催場所】 第1委員会室

【開会・散会時間】 午前9時～午前10時52分

【出席委員】

委員長	恒松恵子	副委員長	中島好人
委員	穂本真一	委員	武野裕司
委員	中村博行	委員	福田勝政
委員	矢田松夫		

【欠席委員】 なし

【委員外出席議員等】

副議長	大井淳一郎		
-----	-------	--	--

【執行部出席者】

水道事業管理者	川地 諭	水道局副局長兼総務課長	岡 秀 昭
水道局次長兼工事管理課長	平野 宏 明	水道局総務課主幹	山 田 智 則
水道局総務課財政係長	合 田 憲 司	水道局業務課長	久 坂 亮 治
水道局業務課主査料金係長	大 角 聡	水道局工事管理課課長補佐工事第一係長	菊 川 英 治
水道局施設維持課長	羽 根 敏 昭	水道局施設維持課課長補佐	武 野 一 茂
水道局浄水課長兼高天原浄水場長	篠 原 智 士	水道局浄水課主幹兼水質係長	御領園 崇
建設部長	井 上 岳 宏	建設部次長兼下水道課長	中 村 景 二
下水道課長兼小野田水処理センター・笠置山陽水処理センター・笠置	小 路 弘 史	下水道課主査兼維持係長	藤 本 英 樹
環境課主査兼下水道課主査	原 野 浩 一	下水道課管理係長	原 田 尚 枝
下水道課計画係長	佐久間 庸 次	下水道課計画係主任	藤 岡 浩 史
下水道課維持係主任	勝 根 郷	都市計画課長	熊 川 整
都市計画課課長補佐兼計画係長	立 野 健 一 郎	都市計画課都市整備係長	三 塩 泰 史

【事務局出席者】

局長	石 田 隆	議事係書記	末 岡 直 樹
----	-------	-------	---------

【審査内容】

1 議案第8号 令和7年度山陽小野田市水道事業会計補正予算（第2回）に

ついて

- 2 議案第9号 令和7年度山陽小野田市工業用水道事業会計補正予算（第3回）について
- 3 議案第10号 令和7年度山陽小野田市下水道事業会計補正予算（第3回）について
- 4 議案第3号 令和7年度山陽小野田市駐車場事業特別会計補正予算（第2回）について
- 5 山陽小野田市住宅リフォーム資金助成事業の予算の拡大と助成金の増額を求める要請書について
- 6 地域建設産業の再生に関する要請書について

午前9時 開会

恒松恵子委員長 皆様おはようございます。ただいまより産業建設常任委員会を開会いたします。本日の審査内容はお手元の資料のとおりです。矢田委員から遅参との連絡を受けております。初めに、議案第8号令和7年度山陽小野田市水道事業会計補正予算（第2回）について、執行部の説明を求めます。

川地水道事業管理者 それでは、議案第8号令和7年度山陽小野田市水道事業会計補正予算（第2回）の概要につきまして御説明を申し上げます。今回の補正は、主に人件費、建設改良費等の諸経費について、決算を見込んだ調整であります。補正予算書1ページ、2ページの説明をいたします。第2条は、業務の予定量について主要な建設改良事業を補正しております。第3条の収益的収入であります。営業収益中の受託工事費等を減額したものの、営業外収益中の受取利息や消費税還付等を増額したため、収入合計で564万8,000円増額補正し、16億5,940万1,000円としております。支出については、上水道営業費用中の委託料、受託工事費等を減額したものの、職員人件費、動力費、資産減耗費等を増額しました。結果、支出合計で1,031万2,000円

増額補正し、15億4,020万1,000円としました。次に、第4条資本的収支を御説明します。下段の支出については、建設改良費において、工事箇所変更等による調整のほか、国の令和7年度補正予算で措置される予定の補助対象工事費を計上したため支出総額で2億8,567万7,000円増額補正し、総額16億6,003万3,000円としております。これら工事等の原資となる収入につきましては、企業債と長期前受金を3億1,916万2,000円増額補正し、9億197万7,000円としております。結果として生じた差引不足額については、第4条本文のとおり、損益勘定留保資金だけでは不足しますので、積立金を2億8,257万3,000円取り崩して補填する予定としております。第5条は、起債の限度額の補正を行うものです。第6条は、流用禁止経費として、職員給与費の補正額を計上してしております。第7条は、他会計からの補助金の補正額を計上しています。そのほか、詳細につきましては、副局長から説明をさせます。

岡水道局副局長兼総務課長 それでは、詳細につきまして既決の当初予算との増減比較で御説明いたします。まず、補正予算書17ページを御覧ください。附記欄に主な増減理由を記載してしております。資料としてお配りしています、A4の資料3分の1ページを並べて御参照ください。収益的収入の上水道営業収益では、下水道工事の中止に伴い受託工事収入のほか加入金、他会計負担金を減額し、営業外収益では預金利息、他会計負担金等に加え、その他雑収益で消費税還付金等を増額補正してしております。長期前受金は、非現金性の収入です。収入合計は564万8,000円増の16億5,940万1,000円を計上してしております。続きまして補正予算書18ページの支出です。A4資料で性質ごとにまとめておりますので、こちらで説明します。人件費は2,323万7,000円増額しています。国家公務員に対する令和7年度人事院勧告に沿って決算を見込み増額補正としております。給与費明細書は補正予算書10ページ以降に載せております。後ほどお読み取りください。その他の支出は、動力費・資産減耗費等を増額補正します。委託料はドローンによる橋梁

点検を市職員にしてもらい減額とし、受託工事費は下水道工事の中止に伴う減額となります。以上、支出合計は1,031万2,000円増の15億4,020万1,000円としております。税処理後の損益は、補正予算書13ページの予定損益計算書のとおりです。予定損益計算書の下から4行目、当年度純利益は427万2,000円となりますが、これには、非現金性の収入5,443万4,000円が含まれております。加えて、その下の「その他未処分利益剰余金変動額」は、資本的収支不足額補填に使用する積立金取崩額の再掲額ですので、当然キャッシュが発生するものではありません。次に補正予算書22ページを御覧ください。資本的支出のうち建設改良費の補正につきましては、例年どおり工事の箇所変更・入札減等の調整はありますが、主には次年度に予定しておりました送水・配水管工事のうち約3.2億円を国の令和7年度補正予算の補助事業として繰上げ計上したため大幅な増額補正となります。支出総額では2億8,567万7,000円の増額補正です。これら建設投資の財源となります資本的収入は、補正予算書21ページとなります。支出の増額に伴い企業債、補助金を増額し、負担金は下水道関連の移設補償金を減額補正します。収入総額では3億1,916万2,000円の増額補正としております。前年度建設改良繰越分6,322万2,000円の支出を含めて、資本的収支の差引不足額は、8億2,127万8,000円になります。この補填財源として、建設改良積立金を2億8,257万3,000円取り崩して対応します。補正予算書9ページのキャッシュ・フロー計算書を御覧ください。3の財務活動において、前年度繰越分を含め企業債の新規借入れで7億円を調達しながらも、下から3行目の資金増加額では会計外に2億6,446万1,000円の現金が流出する予定です。ただし、公営企業の未収・未払等の変動額は、決算日後約1か月程度でほぼ精算されます。これらの影響を除外して、通年の事業活動に由来する資金増減を「正味CF（キャッシュ・フロー）」として試算した結果がA4資料3分の1ページ右端の帯です。記載のとおり2億7,830万1,000円の資金が企業外に流出する予定です。以上の予算執行による結果が、補正予算書15、16

ページの予定貸借対照表に表れております。なお、貸借対照表は6月議会で報告済みの前年度建設改良繰越事業分の6,322万2,000円を含めて作成しております。右手貸方の7項(2)の利益剰余金合計は7億1,708万1,000円ですが、このうち当年度未処分利益剰余金は、注⑧の表記のとおり現金の裏づけのない利益、2億8,257万3,000円が含まれておりますので、これを除いた4億3,450万8,000円が内部留保資金となります。正味キャッシュ・フローの説明のとおり前年度決算から約2億7,800万円減少します。企業債残高は固定負債企業債と流動負債企業債の合算49億6,268万6,000円になります。これは、年間給水収益の358%に相当します。前年度から約3.7億円の増加ですが、補助事業の年度繰上げによる借入の増加によって大幅な変動となっております。以上、水道事業会計補正予算の説明とさせていただきます。御審査のほどよろしくお願いいたします。

恒松恵子委員長 それでは、補正予算書から順に追って質疑を求めます。初めに、補正予算書の2ページ、資本的収入及び支出から質疑はございますか。3ページからも併せて質疑はありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）それでは、予算に関する説明書の注記表、5ページから質疑はございますか。資産の耐用年数はよろしいですね。（「はい」と呼ぶ者あり）続いて、令和6年度の補正予算（第2回）の実施計画でございます。収入6ページ、支出7ページから質疑はございませんか。

穉本真一委員 収入の受託工事収益があるんですけど、これはどこからの依頼になるのでしょうか。確認させてください。

岡水道局副局長兼総務課長 下水道工事に伴って、うちの水道管を移設しなければならないというときに移設補助金を頂きます。その移設補償金のうち、給水管につきましては個人の財産でございますので、うちが工事代行するという形の受託工事収入で計上しております。本管のほうは、収

益的収入のほうの移設補償と負担金となります。いずれも、下水道会計からの繰入れになります。

恒松恵子委員長 そのほか、ございませんか。6、7ページですね。収入支出の一覧表になります。同様の資料がほかのページに分かりやすいものもございます。（「なし」と呼ぶ者あり）続きまして、8ページで収入支出の一覧になります。補助金の上下水道DX推進事業について詳しく御説明いただけますか。どのような内容でDXを進められたのか。

岡水道局副局長兼総務課長 補助金のDX推進事業ですけれども、料金システムを更新しております。それに対する国の補助金となります。

恒松恵子委員長 それでは、8ページから続いて、キャッシュ・フローの9ページになります。質疑はありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）続いて、10ページ、11ページの給与費の明細書でございます。12ページも含みますので10、11、12ページの職員給与について、質疑はありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）次に13ページの予定損益計算書でございます。質疑はありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）続きまして、15、16ページの予定貸借対照表でございます。

中村博行委員 企業債がかなり増えている感じがしております。そして、35.8%と高い数値にまたなったと思うんですが、それとともに内部留保資金が4億3,000万円ぐらいということで非常に心配される、懸念される材料が増えてきていると思います。これは先ほど言われたように、令和8年度分の繰上げみたいな形でそうなっているので、例年と変わらないという判断でよろしいでしょうか。

岡水道局副局長兼総務課長 企業債の借入れは大幅に補正して増額しております。委員おっしゃるとおりに、建設改良工事を約3.2億円繰り上げて、令和7年度補正に計上しておりますのでその影響でございます。内部留

保資金につきましては、7億円から4億3,000万円ぐらいに減りますが当初予定したとおりでございます。内部留保資金を積極的に放出していくと。企業債に頼り切る経営上の不安が残りますけれども、大幅投資が必要であるということから考えますと、もう致し方ないのではなからうかと思っております。この358%というのが、税抜きの料金収入をベースとして計算しております。現在、料金収入につきましては、激変緩和の途中でございますから、激変緩和が終わりますと、この率も同額の借入れであれば下がっていくということでございます。

恒松恵子委員長 そのほか、15、16ページはよろしいですか。（「なし」と呼ぶ者あり）続いて、収益的収支と収益的収支の収益費用の17、18ページから質疑はありますか。こちら附記に詳細が書かれているとのことございました。

穂本真一委員 参考資料にも関わるんですけど、支出のところで消費税がないと思います。これは、その他になるんですか。

岡水道局副局長兼総務課長 参考資料で御説明いたしますと、1番の収益的収入及び支出のほうに一括して消費税が出ます。資本的収入及び支出につきましては税額控除されます。そちらを一括して、1番の収益的収入及び支出のほうで精算するような形になります。年度で消費税は還付になりますから、支出のほうには計上されておりません。理由につきましては、先ほどと重なりますけれども、事業の繰上げで工事が大幅に増えておりますので、それに対する仕入控除が増えて、消費税還付という形になります。

恒松恵子委員長 それでは22ページまで関連しておりますので、22ページまでで質疑はありますか。

中村博行委員 18ページの配水費の委託料で橋梁点検等というのがあります

けれども、これは橋に係る配水管等の点検と考えていいのでしょうか。普通、橋だけの点検という感じを受けるんですけど、水道局での橋梁点検とはどういったものか教えてください。

平野水道局次長兼工事管理課長 この事業につきましては、橋梁に添架されております管路につきましては、足場の設置、交通規制を伴わず、安全かつ効率的に状況確認を行うために今回ドローンを活用して実施したのになります。具体的には管体の腐食、塗装劣化、漏水等の有無を確認するとともに、記録写真を取得して、今後の維持管理の資料として役立てるものであります。

恒松恵子委員長 そのほか、最後までページでよろしいですか。後ほど資料の質疑に入ります。

中島好人副委員長 18ページでいいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）一つはこの委託料ですよね。これは汚泥の運搬処理等と説明はありますが、高天原浄水場の汚泥の運搬になるのでしょうか。

篠原浄水課長兼高天原浄水場長 この汚泥の運搬に関しては、高天原浄水場と鴨庄浄水場、両方の浄水場の汚泥の運搬処理になります。

中島好人副委員長 一時、汚泥を活用する方法があるんじゃないかという提案もあったように思います。その辺の検討状況はどうなってるか分かりますか。

篠原浄水課長兼高天原浄水場長 これにつきましては、セメントの材料の原料の一部として再利用している会社に運んでいるという状況になってます。

中島好人副委員長 一通りの活用はしているということよろしいですかね。あわせて、一番下の丸山ダムの関連事業の負担金とは具体的にはどうい

う負担でどういう割合になっているのかという点についてお尋ねしたい
と思います。

岡水道局副局長兼総務課長 丸山ダムの負担金につきましては、ダムを造った
ときから負担割合が決まっており、共同事業の協定している負担割合に
なります。すみません。後でお調べしてお答えいたします。

恒松恵子委員長 そのほか、よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）では
資料について1ページ、2ページ、3ページと頂いております。参考資
料からの質疑がありましたらお願いします。

中島好人副委員長 資料でいうと、1ページ目の収益的収支及び支出の関係で、
人件費は人事院勧告等で増えていってます。動力費は、要するに今まで
この燃料とか電気代とかの返納がかなり上がってきて、追加していかな
きゃいけない、増額しなきゃいけないということがありました。その関
係でどういう見込みか、どんどん上がっていく状況なのか、その辺の判
断はどういうふうにされてますか。

岡水道局副局長兼総務課長 動力費のほうに燃料代は入っておりません。電気
代ですから、燃料調整等の単価等々の変動によって、大幅に数年前から
は増えております。送水ポンプが主にたくさん電気を使うようになります
すけど、もちろん浄水工程で使う機械等の電気代も多いです。そちらの
電気代を不足がないように予算計上しているということで御理解いただ
けたらと思いますが、令和7年度途中に、工業用水道のユーザーが1社
ほど減りました。共通する電気代につきましては、今まで上水道と工業用
水道で案分していたものが、上水道の案分比率が増えたという増額補正
となります。

恒松恵子委員長 そのほか、質疑はよろしいですか。先ほどの丸山ダムについ
てはいかがでしょうか。

岡水道局副局長兼総務課長 先ほどの丸山ダムの事業ですが、令和7年度につきましては、予備発電機を取替えや流量計を取替えの事業となっております。当初の予算から落札減がありまして、その関係で減額となっております。

恒松恵子委員長 そのほか、質疑はございませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）
以上で質疑を終わります。討論はございませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）討論なしと認めます。それでは、議案第8号令和7年度山陽小野田市水道事業会計補正予算（第2回）について、賛成の委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

恒松恵子委員長 全員賛成で可決すべきものと決しました。続きまして、審査内容2、議案第9号令和7年度山陽小野田市工業用水道事業会計補正予算（第3回）について、執行部の説明を求めます。

川地水道事業管理者 それでは、議案第9号令和7年度山陽野田市工業用水道事業会計補正予算（第3回）の概要について御説明申し上げます。補正予算書の23ページをお開きください。今回の補正は、職員給与等の諸経費について、決算を見込んでの調整であります。第2条の収益的収支であります。収入では預金利息と児童手当負担金を増額し、収入総額を260万2,000円増の3億4,625万2,000円としております。支出については、営業費用が、人件費を増額する一方、委託料を減額しており、支出総額を29万1,000円増の3億4,230万9,000円としております。第3条では流用禁止経費として、職員給与費の補正を記載しております。なお、詳細につきましては、副局長から説明させますので、よろしく申し上げます。

岡副局長兼総務課長 補正予算書 33 ページの収益的収支から説明いたします。

附記欄には主な増減理由を記載しております。なお、A4の資料3分の2ページも並べて御覧ください。まず、収益的収入のうち一般会計からの児童手当負担金を増額しております。そのほか、営業外収益の預金利息を実績に沿って増額しております。以上、収入合計は260万2,000円増の3億4,625万2,000円としております。収益的支出では職員人件費を104万4,000円増額しております。詳細については給与費明細書に記載しておりますので、後ほどお読み取りください。委託料は上水と同じくドローンによる橋梁点検を市職員にしてもらい減額としております。以上、支出合計は29万1,000円増の3億4,230万9,000円としております。税処理後の損益は補正予算書30ページの損益計算書のとおりです。下から4行目、当年度純利益は465万6,000円となります。資本的収支については、補正はありません。補正予算書27ページのキャッシュ・フロー計算書を御覧ください。下から3行目の資金増加額では、今年度521万円の資金が流出することになります。これから未収・未払等の変動額の影響を除外して、通年の（収益的収支と資本的収支のトータルの）事業活動に由来する資金増減を「正味CF（キャッシュ・フロー）」として試算した結果がA4資料右端の帯です。記載のとおり新たに914万4,000円の資金が会計内に留保される予定です。以上の予算執行による結果が、補正予算書31、32ページの貸借対照表に表れております。右手貸方の7項（2）の利益剰余金のうち利益剰余金合計額は9億5,126万6,000円となっており、上水と異なり全て現金の裏づけを持っております。加えて未使用分の損益勘定留保資金が会計内に留保され、結果、期末の内部留保資金は9億7,161万5,000円となる予定です。対して企業債残高は、固定負債と流動負債の企業債の合計が2,973万円にすぎないため、実質無借金経営となります。以上が工業用水道の補正予算の説明となります。御審査のほどよろしくお願いいたします。

恒松恵子委員長 執行部の説明が終わりました。それでは委員からの質疑を求

めます。初めに、補正予算書の1番目の補正予算から質疑を求めます。
（「なし」と呼ぶ者あり）では続いて、予算に関する説明書、注記表。
（「なし」と呼ぶ者あり）続いて、実施計画。（「なし」と呼ぶ者あり）
続いて、キャッシュ・フロー計算書から給与費明細書まで。（「なし」
と呼ぶ者あり）続いて、損益計算書、貸借対照表、負債の部、資本の部
含めて。（「なし」と呼ぶ者あり）最後の収益的収支明細書と資料の3
分の3ページの補正予算構成についての説明書、資料全てから質疑はあ
りませんか。

中村博行委員 貸借対照表で先ほど内部留保資金が9億7,000万円。そして
企業債が2億9,000万円ということで、これだけを見れば、問題
がないように思うんですけど、やはり管路の老朽化とかそういった懸念
はあるんじゃないかと思います。そういった更新についてはどういう考
え方を持っておられますか。

岡水道局副局長兼総務課長 御指摘のとおり、管路の老朽化は進んでおります。
ここ数年来、工業用水道の建設改良工事は控えておりました。令和7年
度に入って1者撤退になりました。残る2者につきましては安定供給の
ために、今後、積極的な投資をしていかなければならないと思っております。
今、計画を策定している途中でございますけれども、その原資と
して、今ある9億7,000万円の内部留保資金で十分かということ
であれば、十分ではないというところでお答えするしかない状況ござい
ます。もちろん1者撤退による減収の影響もございますので、経常経費
の削減等々、内部努力をして、それでも経営が不安定になるということ
であれば、新たな方策を考えるしかないという状況でございます。

恒松恵子委員長 そのほか、工業用水の補正について、質疑はございませんか。

樫本真一委員 収益的収入及び支出の支出の負担金で、令和6年度の予算は約
2,000万円だったんですが、今回1億2,000万円になっていま

す。変わっているのはなぜかお聞きします。

岡水道局副局長兼総務課長 この支出の負担金の中には、西部石油が契約解除されたことに伴い県にお支払いしなければならない負担金がございます。投資に対する借入償還額がベースにお支払いするような形になります。資料では支出のその他の欄に1億535万円と書いてありますけれども、このうち、1億300万円余りを西部石油からお支払いいただいて、そっくりそのまま県にお支払いする金額がこの負担金に入っているために、例年よりは大幅に増額されているということでございます。

恒松恵子委員長 そのほか、質疑はよろしいですか。（「なし」と呼ぶ者あり）
それでは、議案第9号について質疑を閉じます。討論はございませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）討論なしと認めます。それでは採決に入ります。議案第9号令和7年度山陽小野田市工業用水道事業会計補正予算（第3回）について、賛成の委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

恒松恵子委員長 全員賛成で可決すべきものと決しました。では、職員入替えのため暫時休憩いたします。

午前9時47分 休憩

午前10時 再開

恒松恵子委員長 引き続き、産業建設常任委員会を再開いたします。審査番号3番、議案第10号令和7年度山陽小野田市下水道事業会計補正予算（第3回）について、執行部の説明を求めます。

中村建設部次長兼下水道課長 それでは、議案第10号令和7年度山陽小野田

市下水道事業会計補正予算（第3回）について御説明いたします。今回の補正は、決算を見込んだ動力費及び企業債利息の減額、並びに社会資本整備総合交付金の内示額の減額及び大規模下水道管路重点調査等事業の配分に伴う事業の実施により事業費の調整を行うものです。補正予算書の1ページを御覧ください。まず、第2条の業務の予定量の補正ですが、（4）主要な建設改良事業について、事業ごとに変更しています。詳細については後ほど説明いたします。次に第3条、収益的収入及び支出の補正について説明いたします。収入については、1款下水道事業収益、2項営業外収益を3,026万円減額し11億9,221万9,000円とし、下水道事業収益は19億8,500万1,000円となります。支出については、1款下水道事業費用、1項営業費用を2,826万円減額して17億8,303万6,000円に、2項営業外費用を200万円減額し1億4,725万7,000円とし、下水道事業費用は19億3,569万3,000円となります。それでは、12ページをお開きください。収益的収支の支出内訳から説明します。1項営業費用、1目管渠費については、国庫補助金内示減により管渠調査業務委託料を2,310万円減額します。2目ポンプ場費については、決算を見込んで動力費を116万円、3目処理場費についても、決算を見込んで動力費を400万円減額します。2項営業外費用、1目支払利息及び企業債取扱諸費については、決算を見込んで企業債支払利息を200万円減額しております。収入につきましては、2項営業外収益、2目他会計負担金を1,676万円減額、3目国庫補助金を1,150万円減額、4目他会計補助金を200万円減額しております。これらの減額は、支出の減額に伴うものです。では、1ページにお戻りください。第4条、資本的収入及び支出の補正について説明します。これについては、最初に説明した第2条、業務予定量の補正とも関連しますので併せて説明いたします。収入については、1款資本的収入、1項企業債を3億6,292万6,000円減額し6億9,830万円に、2項出資金は1,241万2,000円増額し2億997万6,000円に、3項補助金1億9,403万8,000円を減額し2億841万2,000円とし、

資本的収入は11億3,158万8,000円となります。2ページをお開きください。支出については、1款資本的支出、1項建設改良費を3億6,292万6,000円減額して、7億4,365万9,000円となり、資本的支出は19億4,084万3,000円となります。第5条、企業債の補正についても第4条に関連しますので併せて説明いたします。公共下水道事業債を1億8,270万円減額し、4億4,760万円にしております。資本費平準化債、特別措置分は当初予算と変更がありませんが、国の大規模下水道管路特別重点調査事業に係る起債を140万円新たに設定しております。それでは、13ページを御覧ください。最初に支出について内容を説明します。1項建設改良費、1目公共下水道建設費につきましては、冒頭申し上げたとおり国庫補助金の内示減額及び大規模下水道管路重点調査等事業の配分に伴う事業費の調整により、全体で3億6,292万6,000円の減額としております。補正内容の詳細は、委託料5,284万5,000円増額、工事請負費3億4,236万5,000円減額、補償金7,340万6,000円減額となっております。補足になりますが、国庫補助金の内示率は、社会資本整備総合交付金が100%、防災安全交付金が42.3%となっております。収入につきましては、今説明したものを相対的に財源ごとに振り分けた補正としており、1項1目企業債を1億8,130万円の減額、2項1目他会計出資金を1,241万2,000円増額、3項1目国庫補助金を1億9,403万8,000円減額し、資本的収入は3億6,292万6,000円の減額としております。1ページにお戻りください。今、説明した内容を第2条の(4)主な建設改良事業の事業ごとに説明いたしますと、当初予算から管渠建設事業は6,544万5,000円減額し3億4,543万8,000円、ポンプ場建設事業は6,000万円減額しゼロ円、処理場建設事業は2億3,748万1,000円減額し3億3,561万9,000円としており、全ての事業で減額としております。以上が、補正予算(第3回)の第1条から第6条までの説明となります。引き続き、先ほど説明した補正予算に関する説明書について、簡潔に概略説明いたします。4、5ページをお開きくださ

い。ここには、第3条、第4条で説明した収益的収支、資本的収支の実施計画が掲載されています。金額は、先ほど説明したとおりです。6ページには「予定キャッシュ・フロー計算書」を掲載しております。8、9ページには予定貸借対照表、10ページには予定損益計算書を掲載しており、両方とも税抜きで示しております。12ページ以降の説明資料につきましては、冒頭説明しました第3条、第4条の補正予算明細書が掲載されております。以上が山陽小野田市下水道事業会計補正予算（第3回）の説明となります。御審査のほどよろしくお願いいたします。

恒松恵子委員長 執行部の説明が終わりました。ここで委員からの質疑を求めます。議案の1ページ、2ページ、第1条から第6条まで。詳細な説明もありましたので、そちらでも質疑をお願いします。（「なし」と呼ぶ者あり）続きまして、4ページ。

矢田松夫委員 結論的に言うと、全ての事業を減額したことの説明があったんですが、一番大きな理由の説明がなかったよね。数字の説明だけしかなかったのをお答え願います。

中村建設部次長兼下水道課長 先ほども、最初に触れたんですが、国の内示が少なかったことが主な原因で減額ということになります。

恒松恵子委員長 そのほか、質疑はありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）それでは、5ページ。

矢田松夫委員 事業の変更とか縮小とかがないという大きな理由がなければ、結局、国の内示が少なかったということだけなら、この補正はそれで事足りると。審査の方法が事足りるっていうのは、審査することはないということを僕は言っていました。大きな事業の変更とか、あるいは特段大きな理由でシーズが増えたとかでなければ、国の内示という減額の理由なら、この補正については審議することもないんじゃないかなと勝手

に思ったけど、そういうことになるんじゃないですかね。

中村建設部次長兼下水道課長 一番大きな理由は、内示減というところなんですけど、あと企業債の利息の減というのもありますし、動力費の調整などもございますし、また、このたび大規模下水道管路特別重点調査が新たにメニューとして挙がっております。これは八潮市で、令和7年1月28日に起こった陥没事故に伴いまして、国土交通省から陥没事故の調査を全国的に行うよう指示がありました。このたび、事業で金額的には小さいですが、こういう調査も実施したということが挙げられるかと思っております。

恒松恵子委員長 そのほか、質疑はありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）
次に、6ページのキャッシュ・フロー、8ページ、9ページの予定貸借対照表、10ページの予定損益計算書まで。

矢田松夫委員 さっき言われた下水道管渠特別重点調査事業の増というのは、これでいうと減額がどれぐらいになったんですかね。補助金を書いてあるし、減額も書いてあるけど、大体国庫補助金はどれくらいかかったんですか。ページでいうと5ページです。

原田下水道課管理係長 5ページより最後の13ページを見ていただいたほうが、分かりやすいかと思います。よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）13ページの資本的収入及び支出の委託料のところの説明で、管渠重点調査業務委託というのが282万4,000円プラスになっているかと思います。こちらが、大規模下水道管路重点調査事業のかかった経費になっておりまして、それに対して国庫補助金が50%ついておりますので、上側の収入の部分の国庫補助金の「大規模下水道管路特別重点調査等事業」ということで、141万2,000円、収入が増えております。その裏で、また企業債を充てることができると国が通知をしておりますので、企業債の部分で、大規模下水道管路特別重点調査事業という

ことで140万円、起債を増額しております。

恒松恵子委員長 そのほか、質疑はありませんか。最初の10ページまでで、質疑はよろしいですか。（「なし」と呼ぶ者あり）では次に、説明資料の12ページから13ページまで、質疑はありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）最後に議案第10号の参考資料も頂いておりますので、そちらからの質疑を求めます。

中村博行委員 企業債の貸借対照表から企業債が132億円ぐらいまでずっと減ってきたと思うんですよね。例年どおり10億円の一般会計からの繰入金ということでもうずっと減ってきたから、これから大丈夫かと思ったところで、昨年、下水道管が壊れたことを含めて、やはりこれから潤沢に減っていくとは思えません。その辺の管路の老朽化に伴うもので、かなり変わってくると思うんですけど、それについてはどういうふうな考えをお持ちですか。

中村建設部次長兼下水道課長 昨年8月に圧送管の漏水事故があり、緊急で対応させていただいて、市民の方には迷惑をおかけしたところがありました。今年度は実施設計をしており、来年度から工事を進めればなど思っているところですが、施設のいろいろな部分でかなり老朽化が進んでおりますので、これからストックマネジメント計画に基づいて、修繕等をしていくことになろうかと思えます。これから企業債が今までどおり減っていくってことは、まだ数字が出ておりませんが、なかなか難しいことも考えられると感じておるところです。

中村博行委員 その辺りは、このたび新しく大規模下水道管路の特別重点調査事業の企業債借入れが増えていってということで、かなり国の補助関係が救われる部分もあるんじゃないかと思えます。その辺はどの程度お考えですか。

中村建設部次長兼下水道課長 大規模重点調査をこのたび行いました。速やかな対応を実施する必要がある緊急度1という判定が出た箇所は、今のところありません。大きい管が今回の調査対象になって、1キロメートル程度あるんですが、その管理については引き続き調査を進めて、事故が起こらないような体制でストック等を進めていけたらと思っているところです。

恒松恵子委員長 そのほか、補正に関する質疑はよろしいですか。（「なし」と呼ぶ者あり）それでは質疑を終わります。討論はございませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）討論なしと認めます。それでは採決に入ります。議案第10号令和7年度山陽小野田市下水道事業会計補正予算（第3回）について、賛成の委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

恒松恵子委員長 全員賛成により可決すべきものと決しました。それでは職員入替えのため暫時休憩いたします。

午前10時20分 休憩

午前10時27分 再開

恒松恵子委員長 それでは休憩前に引き続き、産業建設常任委員会を再開いたします。続きまして、審査番号4番、議案第3号令和7年度山陽小野田市駐車場事業特別会計補正予算（第2回）について執行部の説明を求めます。

熊川都市計画課長 議案第3号令和7年度山陽小野田市駐車場事業特別会計補正予算（第2回）について説明いたします。事前にお配りしております、「令和7年度山陽小野田市駐車場事業特別会計補正予算（第2回）」と

いう資料のR8. 3月(補正後)の欄も併せて御覧ください。初めに、歳入について説明いたします。補正予算書の5ページ、6ページをお開きください。1款使用料及び手数料、1項使用料、1目駐車場使用料、1節駐車場使用料140万円を増額し、補正後の額を2,377万4,000円とするものです。内訳は、通常使用の駐車場使用料を100万円、定期駐車券使用料を28万4,000円、プリペイドカード使用料を11万6,000円増額いたします。次に、歳出について説明いたします。1款駐車場事業費、1項駐車場管理費、1目一般管理費、14節工事請負費を500万円減額し、補正後の額を4,500万円とするものです。次に2款予備費、1項予備費、1目予備費640万円の増額については、歳入の駐車場使用料140万円の増額と歳出の工事請負費500万円の減額に伴うものです。補正予算書2ページをお開きください。歳入、歳出ともに、補正前の7,998万3,000円に140万円を増額し、合計金額は8,138万3,000円となります。最後に参考資料を御覧ください。今年度の予算につきましては、右から4列目が当初予算、3列目が12月補正後の金額、2列目が今回の補正金額。一番右側の列が補正後の金額となります。説明は以上です。御審査のほどよろしく願いいたします。

恒松恵子委員長 執行部の説明が終わりました。補正予算書の全部のページからお願いします。6ページまでで質疑はありませんか。あわせて、参考資料も頂いておりますので、全体の質疑を求めます。

中村博行委員 駐車場使用料が140万円増えたということで、これはコロナ禍前と比べてどんな状況になるということですか。

立野都市計画課課長補佐兼計画係長 コロナ前ということで令和元年度の1月末時点と比べて、どの程度かということですが、稼働率でお答えしますと令和元年度が80%で、令和7年度は87%ということでございます。

中村博行委員 コロナ禍でも増えたというお答えがあったんですけども、担当課としては、未整備の駐車場の台数も増えるという状況から、今後も増えるというような感覚をお持ちでしょうか。

熊川都市計画課長 週末の利用が満車の状態がありますというところで、とめられる台数が増えれば、増えることが想定されると考えております。

矢田松夫委員 これは特別会計ですから、結局その自主独立というか、入りも出るのも、なるべくなら入るのを増やして出るのを減らしていくかということなんですが、今回の補正でマイナスの部分がある。これについて増やしていく方法がありますか。

恒松恵子委員長 プリペイドカードの部分についてですか。

矢田松夫委員 それも含めて全体的にです。私が言ったのは、上段と下段が140万円入ったけれど、出る金額があまりにも多いから……

井上建設部長 今年度に限って言えば、工事請負費がありましたので、単年度収支としてはマイナスになっておりますけれども、これがなければプラスですので、今年度に限ったところということで御理解いただけたらと。今後も施設の修繕であるとか大規模な改築更新は、この計画に基づいて繰越金の中からやってまいりますので、単年度で行けばこういうことがあり得るということは御理解いただけたらと思います。

矢田松夫委員 これとは直接関係があるかないかは別にして、今、未舗装のところをこの3月末までに工事完了となっておりますが、これについては予定どおりという理解でいいですか。

熊川都市計画課長 3月末、予定どおり工事を今進めておるところでございます。

中村博行委員 確認ですけど、現在、収容が何台で、プラスで何台になるかというところを確認したいと思います。

三塩都市計画課都市計画係長 現在の収容台数につきましては、260台収容できるようになっております。現在行っています整備工事によりまして、302台収容可能になる予定で行っております。

矢田松夫委員 今回の工事によって、なる前にしても補正で140万円ですけど、実際の工事の関係で駐車台数は減ってますよね。この影響はないですか。

立野都市計画課課長補佐兼計画係長 今は駐車台数を制限している状況ですので、その収益の減少というのも見越した上での補正額になっております。

恒松恵子委員長 そのほか、質疑はございませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）それでは、以上で質疑を終わります。討論はありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）それでは討論なしと認めます。これより採決に入ります。議案第3号令和7年度山陽小野田市駐車場事業特別会計補正予算（第2回）について、賛成の委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

恒松恵子委員長 全員賛成により可決すべきものと決しました。それでは暫時休憩に入ります。

午前10時37分 休憩

午前10時45分 再開

恒松恵子委員長　それでは休憩前に引き続き、産業建設常任委員会を再開いたします。本日の審査番号5番、山陽小野田市住宅リフォーム資金助成事業の予算の拡大と助成金の増額を求める要請書についてでございます。皆様のお手元に令和7年11月28日付で頂いております要請書については熟読されていらっしゃると思いますが、これについて、いかがいたしましょうか。

中村博行委員　これは以前、委員会でも取り上げたことがあると思うんですけども、要望で3件ありますよね。現在の昨年1,000万円から1,200万円に200万円増額していただいた中で、改めて1,500万円にと。物価高騰の折からこういったことも考えられると思いますし、また2番の現在の7万円を10万円にとか、申請受付期間の延長とかも要望として上がっています。これは先日の市民懇談会の中でも、同業者といますか、そういったところからも意見が出ましたので、改めて執行部を呼んで、そういう調査をしたほうがいいんじゃないかと思います。

恒松恵子委員長　中村委員から所管事務調査を行うべきとの御意見がございました。そのほか、いかがでしょうか。

矢田松夫委員　毎回同じ内容で、所管事務調査をすることは必要だと思う。問題は予算執行上、早期に予算がなくなる。決算では、予算の枠内は早々に達するという実態があるから、要請書については、別に問題ないと思うんですね。引き上げようということについては1、2、3があるでしょう。そういう実態があるから意味は分かる。要するに予算を組み立てたけど、もう年度を待たずに、既に予算が執行されて足りない状態になっていますよ。だから、この要請書については異議がないということをお願いしたかった。

中村博行委員　やっぱり執行部を呼んで、現状どうなのかはしっかり把握することも含めて、所管事務調査が必要じゃないかと。物価高騰も含めてあ

るので改めて、通常の委員会じゃなくて、やはりちゃんとした精査をするためにも、所管事務調査の必要性を感じております。

中島好人副委員長 この三つだけではなくて、いろいろな事務の簡素化の問題も出てきてます。現状などを執行部にきちんと確認し、改善される点や要望等があれば、所管事務調査を進めていくという方向で進めてもらうといいかなと思います。

恒松恵子委員長 地域経済における効果も大きいと聞いております。それでは、こちらの審査番号5番については、所管事務調査を実施していくということで、皆様、御異議ありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）それでは、日程は未定ですけれども、所管事務調査に向けて進めてまいりたいと思います。続きまして、審査番号6番、地域建設産業の再生に係る要請書についてです。こちらにつきましても、同じ団体から出されておりますので、所管事務調査のときに併せて、要請書を確認しながら審査をしていくということによろしいですか。（「異議なし」と呼ぶ者あり）それでは、審査番号6番についても、審査番号5番と併せて所管事務調査を行っていくということで、皆様の御理解をお願いいたします。それでは本日の審査日程を終了いたしましたので、産業建設常任委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。

午前10時52分 散会

令和8年（2026年）2月27日

産業建設常任委員長 恒松恵子